

様式集

無人航空機飛行計画書

(作業責任者)

(連絡先)

飛行体制	氏名等		所属		GPS等に頼らない マニュアル操作が可能か？
	操縦者				可能 / 不可能
	操縦補助者				可能 / 不可能
	計時・カメラ 操作担当者				可能 / 不可能
使用する機体	製造者名		名称		
	重量		製造番号等		
飛行の目的	<input type="checkbox"/> 着手前撮影、 <input type="checkbox"/> 三次元起工測量、 <input type="checkbox"/> 3次元出来形測量、 <input type="checkbox"/> 竣工時撮影、 <input type="checkbox"/> その他()				
飛行の日時					
飛行の経路					
飛行の高度	地表等からの高度	m	水面高度	m	
航空法第132条 飛行禁止空域に おける飛行の 許可・承認	<input type="checkbox"/> 進入表面、転移表面若しくは水平表面又は延長進入表面、円錐表面 若しくは外側水平表面の上空の空域 (空港等名称) <input type="checkbox"/> 地表又は水面から150m以上の高さからの空域 <input type="checkbox"/> 人又は家屋の密集している地域の上空				有 / 無
※飛行禁止空域を 飛行させる理由	(理由)				
航空法第132条の2 飛行の方法によ らない飛行の 許可・承認	<input type="checkbox"/> 夜間飛行、 <input type="checkbox"/> 目視外飛行、 <input type="checkbox"/> 人又は物件から30m以上の距離が確保できない <input type="checkbox"/> 催し場所上空の飛行、 <input type="checkbox"/> 危険物の輸送、 <input type="checkbox"/> 物件投下				有 / 無
※法に掲げる方法 によらずに飛行さ せる理由	(理由)				

<p>無人航空機の製造者、名称、重量 その他の無人航空機を特定するた めに必要な事項</p>	
<p>無人航空機の機能及び性能に関 する事項</p>	
<p>無人航空機の飛行経歴並びに無 人航空機を実行させるために必要 な知識及び能力に関する事項</p>	
<p>無人航空機を飛行させる際の安全 を確保するために必要な体制に関 する事項</p>	
<p>無人航空機を飛行させる際の安全 を確保するために必要な飛行現場 での確認に関する事項</p>	
<p>その他参考となる事項</p>	<p>【第三者賠償責任保険への加入状況】 <input type="checkbox"/> 加入している（<input type="checkbox"/> 対人、<input type="checkbox"/> 対物） 保険会社名　： 商品名　　： 補償金額　：（対人）　　、（対物） <input type="checkbox"/> 加入していない</p>
<p>備　考</p>	

飛行の経路

(広域図)

(詳細図)

無人航空機の製造者、名称、重量等

無人航空機	製造者名	
	名称（型番等）	
	重量 （最大離陸重量）	
	製造番号等	
	仕様が分かる資料 （設計図又は写真）	
操縦装置	製造者名	
	名称（型番等）	
	仕様が分かる資料	

無人航空機の機能・性能に関する基準適合確認書

1. 飛行させる無人航空機に関する事項を記載すること。

製造者名		名 称	
重 量		製造番号等	

2. ホームページ掲載無人航空機の場合には、改造を行っているかどうかを記載し、改造している場合には、3. の項も記載すること。

改造の有無 : 改造していない / 改造している (→3. を記載)

3. ホームページ掲載無人航空機に該当しない場合又はホームページ掲載無人航空機であっても改造を行っている場合は、次の内容を確認すること。

確認事項		確認結果
一般	鋭利な突起物の無い構造であること (構造上、必要なものを除く)	適 / 否
	無人航空機の位置及び向きが正確に視認できる灯火又は表示灯を有していること。	適 / 否
	無人航空機を飛行させる者が燃料又はバッテリーの状態を確認できること。	適 / 否
遠隔操作の機体	特別な操作技術又は過度な注意力を要することなく、安定した離陸及び着陸が出来ること。	適 / 否 / 該当せず
	特別な操作技術又は過度な注意力を要すること無く、安定した飛行 (上昇、前後移動、水平方向の飛行、ホバリング (回転翼等)、降下等) が出来ること。	適 / 否 / 該当せず
	緊急時に機体が暴走しないよう、操縦装置の主電源の切断又は同等な手段により、モーター又は発動機を停止できること。	適 / 否 / 該当せず
	操縦装置により適切に無人航空機を制御できること。	適 / 否 / 該当せず
自動操縦の機体	操縦システムにより、安定した離陸及び着陸が出来ること。	適 / 否 / 該当せず
	自動操縦システムにより、安定した飛行 (上昇、前後移動、水平方向の飛行、ホバリング (回転翼機)、降下等) が出来ること。	適 / 否 / 該当せず
	あらかじめ、設定された飛行プログラムにかかわらず、常時、不具合発生時等において、無人航空機を飛行させる者が機体を安全に着陸させられるよう、強制的に操作介入できる設計であること。	適 / 否 / 該当せず

※最大離陸重量の形態で確認すること。ただし、それが困難な場合には、確認した際の重量を記載すること。

無人航空機の運用限界等

(運用限界)

最高速度	
最高到達高度	
電波到達距離	
飛行可能風速	
最大搭載可能重量	
最大使用可能時間	

(飛行させる方法)

無人航空機の追加基準への適合性等

※許可や承認を求める事項に応じて、必要な部分を抽出して（不要な部分は削除して）資料を作成してください。

※仮に、基準への適合性が困難な場合には、代替となる安全対策等を記載する等、安全を損なう恐れがない理由等を記載してください。

○進入表面等の上空の空域を飛行

○150m以上の高さの空域を飛行

基準	適合性
航空機からの視認をできるだけ容易にするため、灯火を装備すること、又は、飛行時に機体を認識しやすい塗色を行うこと。	

○人又は家屋の密集している地域の上空を飛行（第三者上空の飛行以外）

○人及び物件との距離30mを確保できない飛行（第三者上空の飛行以外）

○催し場所上空での飛行（第三者上空の飛行以外）

基準	適合性
物件に接触した際の危害を軽減する構造を有すること。	

○夜間飛行

基準	適合性
無人航空機の姿勢及び方向が正確に視認できるよう灯火を有していること。ただし、無人航空機の飛行範囲が照明等で十分照らされている場合はこの限りでない。	

○目視外飛行

基準	適合性
自動操縦システムを装備し、機体に設置されたカメラ等により機体の外の様子を監視できること。	
地上において、無人航空機の位置及び異常の有無を把握できること(不具合発生時に不時着した場合を含む。)	
電波断絶等の不具合発生時に危機回避機能(自動帰還機能、電波が復帰するまで空中で位置を維持する機能等のフェールセーフ機能)が正常に作動すること。	

○危険物の輸送

基準	適合性
危険物の輸送に適した装備が備えられていること。	

○物件の投下

基準	適合性
不用意に物件を投下する機構でないこと。	

無人航空機を飛行させる者一覧

No	氏名	住所	飛行させることができる無人航空機	備考
1				
2				
3				
4				
5				
6				

無人航空機を飛行させる者に関する飛行経歴・知識・能力確認書

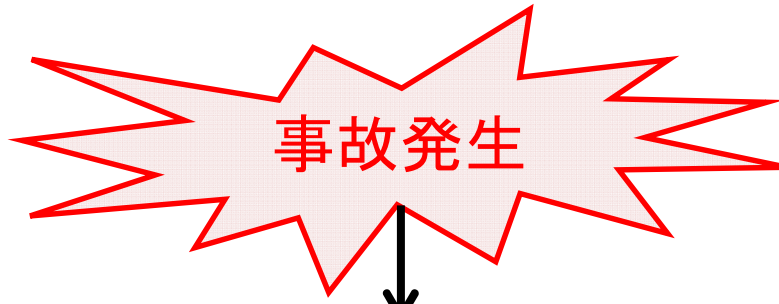
無人航空機を飛行させる者「」は、「無人航空機の飛行に関する許可・承認の審査要領」の4-2に準拠し、飛行経歴・知識・能力を有していることを確認した。

確認事項		確認結果
飛行経歴	無人航空機の種類別に、10時間以上の飛行経歴を有すること。	適 / 否
	使用する無人航空機について、飛行を行おうとする日からさかのぼって90日までの間に1時間以上の飛行を行った経験を有すること。	適 / 否
知 識	航空法関係法令に関する知識を有すること。	適 / 否
	安全飛行に関する知識を有すること。 <ul style="list-style-type: none"> ・飛行ルール(飛行の禁止空域、飛行の方法) ・気象に関する知識 ・無人航空機の安全機能(フェールセーフ機能 等) ・取扱説明書に記載された日常点検項目 ・自動操縦システムを装備している場合には、当該システムの構造及び取扱説明書に記載された日常点検項目 	適 / 否
能 力	一般 飛行前に、次に掲げる確認が行えること。 <ul style="list-style-type: none"> ・周囲の安全確認 (第三者の立入の有無、風速・風向等の気象 等) ・燃料又はバッテリーの残量確認 ・通信系統及び推進系統の作動確認 	適 / 否
	遠隔操作の機体 GPS等の機能を利用せず、安定した離陸及び着陸ができること。	適 / 否 / 該当せず
	遠隔操作の機体 GPS等の機能を利用せず、安定した飛行ができること。 <ul style="list-style-type: none"> ・上昇 ・一定位置、高度を維持したホバリング(回転翼機) ・ホバリング状態から機首の方向を90°回転(回転翼機) ・前後移動 ・水平方向の飛行(左右移動又は左右旋回) ・下降 	適 / 否 / 該当せず
	自動操縦の機体 自動操縦システムにおいて、適切に飛行経路を設定できること。	適 / 否 / 該当せず
自動操縦の機体 飛行中に不具合が発生した際に、無人航空機を安全に着陸させられるよう、適切に操作介入ができること。	適 / 否 / 該当せず	

平成 年 月 日
 飛行を監督する
 責任者の所属・氏名

印

無緊急時連絡体制



【無人航空機飛行会社】
作業責任者：
所 属：
電 話：
携帯電話：

【元請会社】
現場代理人：
所 属：
電 話：
携帯電話：

【消防署】
緊急電話： 119
消防署

【病院】
病院
電話：

【警察署】
緊急電話： 110
警察署

【労働基準監督署】
稚内労働基準監督署
電話：0162-23-3833

【公共交通機関】
J R 北海道
電話：

【国土交通省 北海道開発局】
稚内開発建設部 事務所
電話：

※関連する公共交通機関、電力会社等を記載する。

【国土交通省】
航空局安全部運航安全課
電話：03-5253-8111
(内線) 50157、50158

飛行前KYミーティング記録

飛行前KYミーティング記録

打合せ年月日	
打合せ者氏名	
打合せ場所	
飛行の目的	
撮影対象物	
想定される墜落リスク	
VRSチェック結果	
制御不能の場合、 墜落させる場所	

飛行前チェックリスト

飛行日時				
飛行場所・目的				
操縦者(PF)			Y or N	
操縦補助者(PNF)			チェック欄	
機体名			PF	PNF
1	気象条件	竜巻注意情報、強風注意報(基準:10m/s)が発令されていないか？		
2		風速が5.5m/s未満か？(風力3以下) ※紙片が舞い上がるのが目安		
3		降雨・降雪がないか？		
4	周辺環境	人がいる上空の飛行か？		
5		飛行想定エリア内(概ね周囲150m以内)に変電所、高圧電線、鉄道軌道、高速道路等が存在しないか？		
6		空港制限表面の内、水平表面及び進入表面内での飛行ではないか？(空港中心より8,000m以内の区域)		
7		発着のための平地(ヘリパッド) 2m×2m以上が確保できているか？		
8	要員配置	計時を担当する職員を配置しているか？		
9		計時のためのストップウォッチ、飛行状態確認のための双眼鏡、サングラス、ヘルメットはあるか？		
10		操縦者の補助を担当する職員(PNF)を配置しているか？		
11		操縦者の飛行訓練は十分か？あるいは、飛行訓練等においては適切な指導者を配置しているか？		
12		撮影対象、撮影アングル、飛行ルート等について配置された要員で共通認識がとれているか？		
13	送信機状態	プロポ(送信機)電池残量は十分か？(アルカリ乾電池なら1.4V以上) ※飛行記録を確認し不明な場合は新品に交換		
14		プロポアンテナが直角になっているか？		
15		S1スイッチ(GPS飛行モード)、S2スイッチ(通常操縦モード)が一番上になっているか？		
16	機体状態	リチウムポリマー電池の損傷・ふくらみはないか？		
17		電池残量インジケータが3本以上点灯するか？		
18		プロペラガードが装着されているか？ゆるみ、がたはないか？		
19		プロペラに損傷(亀裂、割れ)はないか？		
20		プロペラの固定軸(黒スピナーは黒軸、銀スピナーは無印軸)は正しいポジションか？		
21		プロペラの締め付けはモーター軸に確実に留まっているか？		
22		モーター軸に固定したプロペラを指で回し、引っかかり・異音等がないか？		
23		ジンバル固定ジグ、カメラレンズキャップは外したか？		
24		SDカードは挿入されているか？カード残量は十分か？		
25		コンパスキャリブレーションは行ったか？(新規箇所のみ) ※周辺に磁気を発生する機器等が無い場所		
26		電源投入後、機体後方のLEDの緑色の連続点滅となっているか？(GPS受信・飛行準備完了)		
備考			判定	